

# 八戸市史だより

第11号

発行日 平成19年 6月28日

八戸市史編纂室

新編八戸市史第2弾!!



いずれもB5判 定価 5,600円(税込)

## 近世資料編I 近現代資料編I 発刊

市史編さん事業は平成10年度のスタート以来、八戸の歴史資料の収集・調査に努めてきました。そして、いよいよ新編八戸市史は、これまでの成果を世に送り出す歴史資料編へと入りました。

歴史資料編のトップを飾る今回は、江戸時代、明治時代の書類や手紙・日記などの古文書を活字化した近世資料編と近現代資料編の2巻を同時に刊行します。

数多くの資料の中から、当時の八戸を知る手がかりとして選りすぐりのものを掲載するとともに、章間には閑話休題的なトピックスを設け、読み物としても楽しんでもらえるよう工夫を凝らしました。

この2冊に詰まったそれぞれの時代の息吹が、皆さんに郷土八戸を見つめ直す機会をもたらします。

### 近世資料編I



八戸藩の成立から支配制度、財政、対外関係、そして災害・飢饉とその対策、藩政改革など、八戸藩の「政治」をテーマに数々の資料を紹介しています。石高2万石という小藩でありながら6万人もの人口を抱えていた八戸藩の実態に迫ります。

付録として、当時の八戸周辺から盛岡方面までが見渡せる「正保の国絵図」と、現在の中心街と見比べても面白い「文久改正八戸御城下略図」(写真裏面)をB2判、高画質カラーで再現しました。資料としてだけでなく絵柄としても美しく、色々な使い方ができるものと思います。

#### 近世資料編 目次：

- \* 第1章 近世八戸の成立
- \* 第2章 八戸藩前期
- \* 第3章 八戸藩の財政
- \* 第4章 藩士と知行地経営
- \* 第5章 城下町八戸
- \* 第6章 村の支配
- \* 第7章 八戸藩の凶作と一揆
- \* 第8章 幕藩関係における八戸藩
- \* 第9章 八戸藩後期

#### 近現代資料編 目次：

- \* 第1章 民俗とくらしぶり
- \* 第2章 くらしを支える八戸の産業
- \* 第3章 地域づくりと明治新政府
- \* 第4章 自由民権運動期の八戸
- \* 第5章 海から拓く試み
- \* 第6章 教育の制度づくり

### 近現代資料編I



廃藩置県から明治末期までの時代を対象に、八戸のくらし・産業・教育などにまつわる資料を紹介しています。

明治維新という目まぐるしい時代変革の中で、八戸がいかに近代化され、人々はどうか対処していったのか、「生活」をキーワードに八戸の先人たちの叡智、さらには八戸の特徴を読み解く材料を提供します。

#### 主な取り扱い書店

伊吉書院(西店) 0178-28-8211  
カネイリ(番町店) 0178-46-1812  
木村書店(本店) 0178-24-3366

#### 既刊案内

### 八戸市史第1弾!自然編

第1部 八戸の自然環境 B5版 535ページ  
第2部 八戸の自然と人間のかわり オールカラー  
定価 5,600円

八戸市史は市外の方でもお買い求めいただけます。詳しくは、市史編纂室まで!

0178-73-3234





## 原始・古代・中世部会

部会員のスケジュール調整が厳しいなか、各遺跡を分担して執筆した「考古資料編（遺跡解説編）」の再校原稿を1冊の本として統一するための編集作業や遺物のカラー写真撮影をしています。ルビ付けや解説の必要な用語を選び出してわかりやすさを工夫するなど、高校生でも読めるビジュアルな考古資料編の刊行を夢みて今後も活動していきます。また、他の「資料編」や「通史編」の内容検討を進めていきます。

## 近世部会



近世部会では、「近世資料編」の発刊に向け、昨年印刷作業を行ってきました。数度にわたった校正作業は、執筆者の熱意で真っ赤になり返ってくる原稿に驚かされながらの作業でしたが、何とか発刊の運びとなりました。今年度末発刊予定の「近世資料編」についても、原稿調整や口絵・付図として掲載する資料の選定を行っています。それ以降の刊の構成や内容については、より良いものを目指し今後も調査・検討を進めていきます。

## 近・現代部会



近・現代部会では、今回発刊になった『近現代資料編』の印刷作業を、昨年秋から進めてきました。この『近現代資料編』は、部会としては市史編纂事業開始以来、初の刊行であったため、執筆委員や事務局、及び印刷会社など全ての関係者にわたり、慣れない作業が続き、難産の上、ようやく完成しました。

今年度は、引き続き『近現代資料編』の印刷作業を予定していますので、今回の作業で培った経験を生かし、さらに良い本ができるよう作業を進めていきます。

## 自然・民俗・文化財部会



民俗班は、今年度刊行予定の中心街地区の民俗報告書の作成と本編「民俗」の執筆について、スケジュール、執筆担当、掲載内容、目次等について検討しました。中心街地区報告書が完成すると、市内10地区の報告書が揃い、それをふまえて本編執筆となります。

## 編纂室カレンダー 4月～6月

- |                       |                                |
|-----------------------|--------------------------------|
| 4 / 2 4 (火)           | 民俗班会議                          |
| 4 / 2 5 (水)           | 原始・古代・中世部会会議                   |
| "                     | 近・現代部会会議                       |
| 5 / 1 3 (日)           | 近世部会会議                         |
| 5 / 1 8 (金)           | 八戸市史編集委員会                      |
| 6 / 6 (水)             | 近・現代部会会議                       |
| 6 / 9 (土)～6 / 1 1 (月) | 青森県史編さんグループ<br>との近現代漁業関係資料合同調査 |



「文久改正八戸御城下略図」

# 八戸市史だより

第11号

発行・編集 八戸市史編纂室

〒031-0022 青森県八戸市大字糠塚下道2-1 八戸市立図書館内

電話・FAX 0178(73)3234

E-mail shishi@city.hachinohe.aomori.jp

Http://www.city.hachinohe.aomori.jp/shiryo/shishi/01\_hyoushi.html